

# 紺碧沖繩

電子メールアドレス : o.fukusi@muse.ocn.ne.jp ホームページ : http://www.okinawa-j.jp/

 **第 45 号**  
 編集・発行  
 社会福祉法人  
**沖縄県社会福祉事業団**  
 〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373番地1  
 TEL 098-884-3173 (代)  
 FAX 098-882-5688



あけぼの・漲水合同チーム

海神祭 in 宮古島狩俣自治会

にあたっては、役員の皆様が日頃から鋭意努力されておりますことに心から敬意を表すものであります。

ご承知のように我が社会福祉事業団は、平成十八年四月から十二の県立福祉施設の設置及び運営の移譲を受け「県民福祉への貢献を基本に、効率的な経営を行い、自立した社会福祉法人としての永続的な発展」を経営理念として自主経営を行います。

社会福祉においては「障害者自立支援法」の制定、介護保険法の改正・診療報酬の改定等経営にとって厳しい時期であります。

これら重要な局面を乗り切るため、事業団としては事業及び組織全般について、社会情勢の変化を踏まえた見直しを行い、利用者への適切な福祉サービスの向上に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも「利用者」の為、事業団役員ともども頑張っております。



理事長 呉屋清徳

**信頼される施設運営を**

平成十八年七月十一日に開催された理事会において推挙され、理事長に再任されました。当事業団の事業推進

## 常務理事就任あいさつ

常務理事兼事務局長

仲田 秀光



四月一日付けで常務理事兼事務局長に就任しました。非力ではありますが、役員一体となり、施設利用者の福祉の向上に努めていきますので、よろしくお願いいたします。

昨今の社会福祉分野を取りまく情勢を見ますと、国においては、国と地方の三位一体の改革、郵政民営化等の官から民への改革が進められ、県においては、財政健全化、公社等外郭団体の見直しが進められています。

事業団に係る状況としては、「四六通知の見直し」、「指定管理者制度の導入」がありました。今年度には、介護保険制度と診療報酬の改定、障害者自立支援法の一部施行等事業団運営に係る大きな変革が実施されました。

このような中、事業団は、四月一日をもって、施設設置者が知事から事業団理事長に変更になるとともに、経営形態が県からの委託方式から独立採算方式に変更されました。これに伴い定款改正をはじめ諸規程の整備がなされ、民営化という新たな出発をしたところであります。

事業団の民営化は、完全な形で実施

されたものではなく、「出発に際しての運営費は市中銀行等からの借り入れに頼らざるを得ないこと」、「土地・建物は県からの一年間の無償貸与で、その後の取扱いは、事業団の経営計画を踏まえた県との調整が残されていること」等課題が残されています。課題解決とともに経費節減等健全経営に向けた取り組みが必要と考えています。

利用者及びご家族の皆様には、民営化の経過が十分に伝わってなく心配をおかけしました。言うまでもなく事業団は、福祉サービスの提供が大きな役割ですので、利用者の多種多様なニーズに応えるよう施設職員とともに努力してまいります。

新たな出発に係わった関係者には、短期間の移行期間にもかかわらず、施設運営に大きな停滞をもたらさずことなく民営化を進められたことに敬意を表したいと思います。

平成十七年度末に、これまで事業団運営に貢献されました七十数名の方が退職されました。これまでのご労苦に感謝申し上げます。また、同規模の職員が事業団の仲間に加わりました。新採用職員にはこれからの活躍を大いに期待しています。頑張ってください。

最後に、関係者の皆様の今後のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 【十七年度 事業及び決算報告】

平成十八年五月二十六日(金)第二回理事会が開催され平成十七年度の事業及び決算報告等が認定された。

主な内容は次のとおりである。

### 一、総括

平成十七年度は、我が社会福祉事業団において「指定管理者制度」という事業団自体の存続を左右しかねない制度改革に遭遇する大きな節目となり、民営化に向け事業及び組織全般について、社会情勢の変化を踏まえた見直しを進め、より質の高い福祉サービスが提供できるように、経営体制の強化を図ってきました。

しかしながら、十分な体制を確立出来る状況には至らない中、職員の資質の向上と意識改革を進めるため「自主経営会計担当者会議」、「職種別自主研修会議」、「QC活動」、「自己評価」等を実施し、職員の意識の高揚に努めたほか、共同入札の実施、退職者不補充の継続等により、更なる経費の削減に努めました。

辛い事業団職員のこれまでの利用者支援の実績、福祉にかける情熱等が評価され、一年という期限付きではあるが土地・建物・物品等の無償貸与という形で、平成十八年度から十二年度福祉施設の移譲を受ける協定書を県と締結する事が出来ました。

自主・自立の施設経営に向け平成十七年度も各種事業を推進してきました。

### 二、主な実施事業

事業団経営改革基本計画の推進  
十八年度からの民営化に伴い、事務局常勤役員の事務局局長兼務体制、職員の給与制度の見直し等を進めてきた。

しかしながら、新たに二十一億円の土地購入、老朽施設の改築、積立金に要する経費等が加わると共に、「障害者自立支援法」の施行「介護保険法」、「診療報酬」の見直し等があり、収入減が予想される為、新たに中長期的な「実施計画」の策定が早急に必要となってきました。

全施設に苦情解決責任者、同受付担当者及び第三者委員を設置し、適切な苦情相談の実施に努めた。福祉サービスの自己評価を行った。リスクマネジメント体制の確立を図るため「事故等事例集」、「危機管理マニュアル」を活用し、リスクマネジメントの実践に努めた。

### 自主経営会計担当者会議

自主経営への移行の際に、最も大きな変化が予想される財務・会計処理、定款の変更、十二施設の設立認可申請及び介護保険・支援費事業所の指定申請等を検討し各施設へ報告した。

※「決算報告」は左表





# 平成十八年度 事業計画

## 一 運営方針

我が社会福祉事業団は、平成十八年四月から、十二の県立福祉施設の設定及び運営の移譲を受け「県民福祉への貢献を基本に、効率的な経営を行い、自立した社会福祉法人としての永続的な発展」を経営の理念として自主経営を行います。

平成十八年四月からは、身体・知的・精神の障害種別に分かれていた現行施策を一元化し、利用者に原則一割の定率負担を導入する「障害者自立支援法」が制定されました。また介護保険制度においても「介護予防サービス」や「地域密着型サービス」が進められ、経営側にとって大きな収入減が予測されます。

これら重要な局面を乗り切るため、事業団としては、事業及び組織全般について、社会情勢の変化を踏まえた見直しを進めていき、さらなる経営努力、利用者への適切な福祉サービスの向上に取り組み「沖縄県社会福祉事業団経営基本計画」に基づく実施計画を策定し、その推進に努めます。

自主・自立の施設経営に向け不断の努力を今後とも継続していくことが重要との認識に立ち、平成十八年度も各種事業を推進していきます。

## 【重点事項】

一 事業団経営改革基本計画に基づく実施計画の推進

計画の進行管理、達成度の評価を図りつつ、今後の実施計画を策定する。

二 利用者本位の福祉サービスの充実  
福祉サービスに関する苦情解決体制、福祉サービスの自己評価及び第三者への対応、職員倫理綱領の適正な運用等に努めます。

三 経営基盤の強化  
強力なリーダーシップの下で経営戦略に基づいた法人運営を展開する理事会体制の強化、また各施設の施設長を事務局兼務発令の経営対策監として法人全体の経営管理に係わる体制とする。

直接処遇職員の正規職員と非正規職員の構成比率を六対四に見直す。

給与制度、就業規則を見直す。

四 職員の資質の向上と意識改革  
自主経営会計担当者会議

現状の経営状態を分析・理解し、経営指標の計画と事業実績を比較し、将来の事業計画にフィードバックする。

職種別の自主研修  
「提供される研修」から「創り出す研修」を目指し互いに学び合う職場環境の創出に努める。

## 経営対策監の役割

知的障害者更生施設北嶺学園  
園長 奥平 弘 一



平成十八年度からの民営化に伴い、従来の県に準じた規程を自主経営に対処した規程に改める必要があることから、定款を始め諸規程の全部または一部が改正された。

その中で、組織規程第三条で事務局に「経営対策監」が置かれ、全施設長十一名が兼務発令となった。

事業団は、自主経営に向けてこれまで大胆な改革を進めてきたが、市場競争を勝ち抜くためには、財政安定化のための事業体系の構築に加え、利用者処遇技術のさらなる向上、職員の意識改革と重要課題は多く、一層の改革努力が求められている。

経営対策監はこれらの課題解決のため、各施設の安定経営はもとより、法人全体の経営健全化に目を向けなければならぬ。

制度収入内での経営が厳しい施設を抱え、さらに国の制度改革で減収が予測されるところ、今後の事業経営は厳しさが増すばかりで、経営対策監に課せられる責務は大であるが、職員や理事者と共通認識を持ち英知を結集することで難局を乗り越え、事業団の展望を開くことができるものと信じる。

## 就任あいさつ

事務局

事務部長 金城 敏彦



事業団民営化という厳しい転換期に事務部長に就任し改めて、その重責を感じているところであります。

いま、我が国は世界に類をみない少子・高齢化社会の中で福祉需要の増大・ニーズの多様化に対応するため児童・高齢者・障害者に対する社会福祉制度改革が矢継ぎ早に進められています。

そうした中、県立民営としての事業団から、県から財政支援を受けない運営体制で、新たに他の民間法人と競走しても確実に勝ち抜くことのできる事業団をつくっていかねばなりません。

そのためには、施設利用者に一層良質なサービスを提供できるように十二施設のスケールメリットを活かし、他の法人に勝る自主経営体制をつくることであります。

十八年度は職員の皆さんにとって大変厳しい内容でのスタートになりましたが、事業団が三十四年間培ってきた実績と経験を生かし、新たな事業団を築くために全職員一丸となって頑張っていこうではありませぬか。

これからも、施設利用者が将来にわたって、安心して生き生きと暮らせる信頼できる福祉施設をめざし、また、将来も安心して働き続けられる職場をめざし、職員の皆さんと一緒に期待に応えられるよう努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

# 施設だより

## 海神祭(ハリー)参加で地域交流

知的障害者更生施設 あげぼの学園  
生活支援員 渡真利 大輔

去る六月四日、私たちあげぼの学園(男子十八名、女子十一名)二十九名は、狩俣自治会主催によるハリー大会に参加しました。

あげぼの学園チームは、男子利用者六名、男子職員三名に加え助っ人として漲水学園若葉寮の男子一名の参加を得て、要の舵取りは親の会会長の国仲一男さんに依頼し、合計十一名のメンバーでレースに挑みました。

レースは三隻ずつで行われました。チーム不参加により一対一で競いました。号砲一発のシグナルで、イチニツ、イチニツのかけ声で舟をこぎ、折り返しのブイを指し威勢良くフアイトの連呼です。相手チームは女性のみでしたが、常連のチームでかなり手こわくて接戦でした。ブイを折り返す際に、舵取りの微妙な差でスムーズにターンしていききにリードしメンバーの頑張りで何とか逃げ切り歓喜の表情で勝利しました。

利用者、職員共に全員で勝利ムードのまま、おいしく弁当を食べました。絶好のハリー日和で、みんなの熱い気持ちが初夏の暑さを吹き飛ばし、狩俣西の浜を後にしました。



## ショッピングを楽しむ

救護施設 いしみね救護園  
生活指導員 町田 宗広

去る六月五日(月)～十四日(水)までの間、西原にある大型ショッピングセンターを利用し、ショッピングが行われました。

利用者のニーズに応えるため、少数に分かれて実施するが、自分の順番が待ちきれずにヒステリックになる利用者が出るハプニングがあり、急いで順番の調整を行い対応すると本人も納得し、その後はスムーズに進行しました。広い店内で特に迷うことも無く品定めを行う利用者、品数の多さに目移りして迷っている利用者、それぞれの目に輝きがあり、真剣な様子で買い物を行う姿がありました。

帰園後、あまりの嬉しさに職員に衣類を見せる利用者、家族に電話をして興奮気味に報告する利用者など、それぞれが楽しめたショッピングでした。



# 地域交流

## よつぎぞ「一日園長」

重症心身障害児(者)施設 沖繩療育園  
保育士 宮里 紀子

毎年、皆が楽しみにしている一日園長。今年はCM「行きたいな 行きたいな」でお馴染みの池田卓さんがいらっしやいました。高校時代、沖水のピッチャーとして活躍していたという池田さんは、日焼けした顔に真っ白な歯が印象的な爽やかな人で、利用者への細かい気配りや優しい声かけに人柄の良さを感じました。

当日は、蒸し暑い日となりましたが、一病棟・二病棟・通園・分校の生徒達が一堂に集い、

若さあふれる池田さんの歌声からたくさんのパワーをもらい楽しい時間を過ごすことができました。ライブの後、一日園長として各病棟、居室を回り、より多くの利用者と触れ合い記念写真や握手をして激励してくれました。



## 「ゲートボール大会」に参加して

養護・特養老人ホーム 具志川厚生園  
介護員 大城 秀夫

去る五月十九日(金)県総合運動公園内レクリエーションドームにおいて、第二十五回沖縄県老人福祉施設ゲートボール大会が行われました。県内六つの養護老人ホームの利用者の大会で、各チーム(利用者、職員)開会式前の練習から試合にかけてかなりの意気込みが感じられました。当園の選手も普段見られない表情で頑張っている姿が印象的でした。

試合結果は、二チーム参加しAチームが四位、Bチームが予選敗退、試合に対する反省の弁がいろいろとありました。来年も元気に参加できるように、参加者同士が互いに激励、労いの言葉を掛け、再会することを約束しました。





# 施設長就任あいさつ

沖繩療育園

園長 知名 保



去る四月に公衆衛生分野の保健所から沖繩療育園長に就任しました。私にとって障害者に関わる医療は初めての経験で新人生同様ですが園長兼経営対策監という重責を担う事になりました。予想とは違う職員の方々に元気づけられ、日々職場に慣れて来ました。

新たな制度と体制で出発した今年度、抱える課題は沢山ありますが、経験豊かな職員と他施設長の皆さんから助言を頂き利用者にとっても職員にとってもより快適な施設の運営を目指して、与えられた職務を遂行していきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

## 新採用職員紹介

沖繩療育園

准看護師 神谷 直樹



私のチャームポイントは、身長170、体重100、ウエスト100、ヒップ100のオール100の均整のとれたボディです。ところで、私の尊敬する人に金子みすずという若くして幼い子を産み去った童謡詩人がいます。「大漁でにぎわっている港の外の海では、魚たちが仲間の甲いをしてるのだらう」と見えないものを心で感じ取る大切さをこの様な詩を通して学びました。是非一度この人の詩を読んでみてください。最後に新職員を代表して「頑張るぞ」という意気込みを伝えます。

# ニューフェイス紹介

沖繩療育園

看護師 前島 みゆき



沖繩療育園第一病棟に新規採用になりました。私は施設で働くのは初めてで、慣れないところもありますが、先輩職員の方々と利用者の方々と楽しい時間を共有し、より良い看護ケアができるように頑張りたいと思います。

漲水学園  
児童指導員 宇座 正市



四月一日付けで、漲水学園児童指導員の採用辞令を受け嬉しく思います。児童養護という大切な任務で三年間嘱託職員として学んだ経験を生かし、児童の無限の可能性に夢と希望を与えるやりがいのある仕事に誇りを持って懸命に務めていきたいと思っております。知識や経験は浅く勉強不足ですが、先輩職員の指導・助言を仰ぎ、児童の最善の利益と自立支援を目的に「受容・共感・信頼関係」を保持しながら、初心にかえり組織の使命と役割を認識し、待ちの姿勢ではなく自ら積極的に動く姿勢で日々の業務に邁進したいと思っております。

あけぼの学園  
生活支援員 下地 栄市



あけぼの学園に嘱託職員として三年間勤務し四月より正規職員として採用され、感激と職責を痛感しております。趣味は

都屋の里

事務員 神谷 泰史



中学校から大学まで陸上部(長距離)に所属しており、現在も仕事後や休日などに健康と体力維持のため頑張っています。これからの抱負としては、あけぼの学園では日頃からマラソンを好んで行う利用者が数名おり、以前はナハマラソンなど地域の大会に出場していたそうなので、自分の趣味でもあるマラソンで彼らと共にゴールテープを切れたらいいなと思っています。新採用となり心機一転気持ち新たに利用者の方々に今以上に学園での生活を楽しくしてもらおうと頑張っていきたいと思っております。

北嶺学園

生活支援員 吉浜 和則



平成十五年四月、大学を卒業したばかりの私は知的障害者更生施設北嶺学園にて、臨時的任用職員として働く機会を得ました。社会人として全くの無知であった私を、職場の先輩方がとても優しく指導し、また利用者の皆様も温かく受け入れて下さり、非常に恵まれた環境で有意義な時間を持てました。

社会福祉事業団が民営化をスタートさせたこの四月、お世話になった先輩方と入れ違つ形で採用となった訳ですが、先輩達から引き継いだこの環境をより良くしていきたい様、精一杯努力していきます。宜しくお願いします。

よみたん救護園

介護員 玉城 みゆき



本年度、事業団に採用となり、新たな環境の中で身の引き締まる思いです。よみたん救護園に配属となり、今までの経験とは異なり、戸惑いや不安もありました。先輩職員や利用者の方



サポートを受け、少しずつ園の生活にも慣れてきたように思います。

これからの目標として、自分自身にゆとりを持って、目の前の利用者の気持ちに触れ、向き合い、各々に合った適切な対応ができるように思います。でも、正直まだまだ未熟なところがあります。利用者や職員と共に喜怒哀楽を共有できる潤いある生活にしたいと願います。どうぞよろしくお願ひします。



いしみね看護園  
管理栄養士 宮城 優子

採用されてから数ヶ月が経ち、利用者の方の名前もようやく覚えてきました。利用者の方たちは新人の私にもよく声を掛けてくれ、いつも大家族の中にいるような気がしています。

先月の誕生会では気持ちよく歌っている利用者の方たちが印象的で、これからの行事もとても楽しみにしました。毎朝元気よくラジオ体操をしている利用者の方たちを見て、栄養士として第一に安全な食事、そしておいしい食事を提供出来るように私も精一杯頑張ろうとパワーをもらっています。



うるま婦人寮  
生活指導員 上間 由美子

この度、沖縄県社会福祉事業団の新規職員として採用されました。

去年一年間は、嘱託職員でうるま婦人寮の生活指導員として、職員・利用者を支えられ勉強させていただきました。振り返ってみれば、あっといふ間の一年でした。実際に指

導員として現場で感じた事は、自立支援の難しさです。私達がよかれと思った事が利用者にとっていい支援とは限りません。また、関係機関との連携が、自立に向けた選択肢を広げ、よりよい支援ができる事も実感しました。

これからも、先輩職員・利用者と共に、生活指導員の役割とは何かと自問自答し、利用者のニーズに沿った支援ができればと思います。今後ともご指導よろしくお願ひします。



名護厚生園  
介護員 桃原 健

民営化元年、平成十八年四月一日、期待と不安を胸にして、名護厚生園に配属となりました。

沖縄市在住の私にとって、毎日名護に通勤するというのは大変ではありますが、民営化となりこれから色々な面で劇的に変わっていく、新生事業団の一員になれることを嬉しく思うと共に、責任の重大さがひしひしと伝わってきます。これから、指導を受けながら、事業団の緒先輩方と共に向上していけたらと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。



具志川厚生園  
生活相談員兼介護指導員 宮里 美奈子

十二年間勤めた職場を退職し、今年四月から新たな気持ちで、こゝ具志川厚生園に来て、早二ヶ月が経つとしています。前職場

は、老人保健施設で支援相談員として働いていました。現在は生活相談員兼介護支援専門員として働いていますが、同じ相談員でも「支援」と「生活」では仕事の内容に

違いがあり、戸惑いや疑問に思うことも多々ありながらも日々の業務を何とかこなしている状況です。

今年四月から民営化になった事業団、具志川厚生園も私も心機一転で新たな改革を行う必要性を感じ、出来ることからコツコツと努力し、頑張っていきたいと思ひます。



宮古厚生園  
介護員 高岡 大三郎

宮古厚生園に嘱託職員として採用されて三年七ヶ月。そして本年四月、正規職員として採用して頂きました。

当初は漠然と捉えていた。みんなのために、みんなできり、みんなを支える園生活」という宮古厚生園の理念が、これまでの仕事を通して、自分のものとして消化できるようになりました。この私自身の成長は、利用者によって育てられていると思ひます。

これからも利用者と共に職員達の生活の場を守り、より良い生活の実現を目指して日々仕事に取り組んでいきたいと願ひます。



八重山厚生園  
事務員 知念 亜希

昨年五月に嘱託員(給与担当)として八重山厚生園のスタッフとなり、そして今年四月からは正規職員(出納職員)として採用となりました。

この就職難の時代に、事業団一職員として採用された事、また事業団民営化スタートの年ということで、心機一転心新たに頑張ろうと決意した四月から早二ヶ月が経ちました。

前年度とは職種が異なり、日々の業務をこなすのに精一杯で、一日一日がめまぐるしくあつというまに過ぎております。そんな中、前任者の親切な対応、気配り、的確なアドバイス、また、上司・同僚の方々の助言やサポートのおかげで業務を確実にこなすことができても感謝しています。一日も早く今の業務に慣れるよう努力し、また厚生園の利用者の方々が快適な生活を送れるよう他スタッフと協力し、より良い施設運営に貢献できるよう頑張りたいと思ひます。

### 新採用職員名簿

沖繩療育園  
(事務員) 譜久原園子 (児童指導員) 宮城貴子・我那覇博明 (看護師) 奥間直美・比嘉春美・宮城章・池原祥子・鳥袋恵・比嘉透・高江洲なつ子・宮里和代・前島みゆき・根間早苗・長嶺美千代 (准看護師) 神谷直樹・東江淳平・新門春奈・又吉八重子 (介護員) 義間道幸・具志堅楨・新垣優太・濱川亜季・糸数志穂・平川恵理子

うるま婦人寮  
(生活指導員) 上間由美子  
漲水学園  
(事務員) 浜川誠士郎  
(児童指導員) 宇座正市・下地龍一郎  
あけぼの学園  
(生活支援員) 下地栄市  
北嶺学園  
(看護師) 桃原ゆかり  
(生活支援員) 吉浜和則  
都屋の里  
(事務員) 神谷泰史 (介護員) 田屋勝





事務局通信

☆☆ 人事 ☆☆

( ) 内は前職場など

○異動(四月一日)

悟・仲地夏海・知花美由紀・知花みどり・又吉裕貴
よみたん救護園
(事務員) 上原昭彦 (看護師) 當山末美
(介護員) 玉城みゆき・比嘉優・田盛美智代

▲事務局 事務部長・金城敏彦(昇任・沖繩療育園) 総務課長・石川俊雄(昇任) 企画課長・竹田陽一(昇任) 事務員・平良里子(職種変更・沖繩療育園)

いしみなね救護園
(事務員) 友寄裕貴 (管理栄養士) 宮城優子 (介護員) 外間由香利・真謝孝雄
名護厚生園
(事務員) 崎原盛俊 (介護支援専門員) 具志堅豊 (生活相談員) 島袋敦子 (管理栄養士) 屋良智子 (看護師) 當間幸江 (准看護師) 比嘉悦子・真栄田順子 (介護員) 桃原健・伊藤生久子・仲田優子・名護一成・名護美智代・工藤大二郎・渡慶次和江・石川利孝

宮古厚生園
(管理栄養士) 奥浜智子 (生活相談員兼介護支援専門員) 平良利子 (介護員) 洲鎌由美子・高岡大三郎・砂川美咲
具志川厚生園
(事務員) 外間隆史 (生活相談員兼介護支援専門員) 宮里美奈子 (准看護師) 大城洋子 (介護員) 安谷屋美和・小川由香里・比嘉千亜紀・金城若菜・仲樹貴子・上地美帆

八重山厚生園
(管理栄養士) 新垣さゆり (事務員) 知念亜希 (看護師) 志村祐子 (准看護師) 具志堅直子 (介護員) 宮城寿伸・長浜寛光・上間理絵・安次富真紀・高嶺真理子・出嶋弘士
事務局 六月十二日付採用
(事務員) 翁長武己

▲沖繩療育園 看護課長・井口智(昇任) 育成課長・比嘉惠次(昇任・うるま婦人寮) 看護師・根間多美子(北嶺学園) 看護師・平田真由美(いしみなね救護園) 看護師・洲鎌米子(具志川厚生園) 准看護師・富里隆雄(具志川厚生園) 看護師・仲松恵子(再雇用) 言語聴覚士・銘苅伸子(再雇用) 保育士・宮里紀子(職種変更) 保育士・田場貴子(職種変更) 介護員・高原英子(名護厚生園) 介護員・安里宏子(具志川厚生園) 介護員・古見勝二(具志川厚生園) 介護員・末吉正夫(宮古厚生園) 介護員・太田信也(よみたん救護園)

▲漲水学園 管理課長・仲間寛(昇任・八重山厚生園) 保育士・荷川取律子(職種変更) 保育士・上地乃智子(職種変更・宮古厚生園) ▲北嶺学園 園長・奥平弘一(事務局) 副園長兼管理課長・大城正明(都屋の里) 事務員・山入端正光(いしみなね救護園) 生活支援員兼作業指導員・上里育子(職種変更・いしみなね救護園) 名嘉克文(具志川厚生園) ▲都屋の里 管理課長・友利勝政(昇任・漲水学園) 看護師・池原隆子(沖繩療育園) 介護員・大城悟(具志川厚生園) 介護員・小谷吉竹(名護厚生園) ▲よみたん救護園 園長・仲里光義(うるま婦人寮) 副園長兼管理課長・仲間貞教(昇任・漲水学園) 生活指導員・上原将弘(いしみなね救護園) 介護員・牧門朋子(名護厚生園) 介護員・比嘉妙美(具志川厚生園) 介護員・親富祖宏(沖繩療育園) ▲いしみなね救護園 園長・昭屋政治(よみたん救護園) 管理課長・島仲邦康(昇任・北嶺学園) 生活指導員・町田宗広(北嶺学園) 看護師・桃原幸恵(沖繩療育園) 介護員・阿波連園江(沖繩療育園) ▲うるま婦人寮 寮長・小渡利枝子(名護厚生園) ▲名護厚生園 園長・上間亨(いしみなね救護園) 副園長兼生活支援課長・狩俣富男(副園長兼庶務課長) 庶務課長・山里将一(昇任・具志川厚生園) 生活相談員兼介護支援専門員・平良睦男(生活相談員) 介護員・知念忍(沖繩療育園) 介護員・崎間修(都屋の里) 介護員・横田久夫(具志川厚生園) ▲具志川厚生園 生活支援課長・知花進(昇任・よみたん救護園) 事務員・奥濱真由美(名護厚生園) 介護支援専門員・親富祖正信(生活相談員) 生活相談員・小谷良哲(沖繩療育園) 管理栄養士・名嘉悦子(いしみなね救護園) 介護員・新垣敏浩(名護厚生園) 介護員・山城しのぶ(名護厚生園) ▲宮古厚生園 介護支援専門員・垣花芳枝(名護厚生園) 生活相談員・佐久田政幸(生活相談員) 介護員・下里哲男(職種変更・漲水学園) 生活相談員・砂川正司(職種変更) 准看護師・伊禮勝枝(職種変更) ▲八重山厚生園 介護支援専門員・上地悦子(職種変更) 生活相談員兼介護支援専門員・石垣孝(職種変更) 生活相談員・奥間安洋(生活相談員)

原幸恵(沖繩療育園) 介護員・阿波連園江(沖繩療育園)
▲うるま婦人寮 寮長・小渡利枝子(名護厚生園)
▲名護厚生園 園長・上間亨(いしみなね救護園) 副園長兼生活支援課長・狩俣富男(副園長兼庶務課長) 庶務課長・山里将一(昇任・具志川厚生園) 生活相談員兼介護支援専門員・平良睦男(生活相談員) 介護員・知念忍(沖繩療育園) 介護員・崎間修(都屋の里) 介護員・横田久夫(具志川厚生園)
▲具志川厚生園 生活支援課長・知花進(昇任・よみたん救護園) 事務員・奥濱真由美(名護厚生園) 介護支援専門員・親富祖正信(生活相談員) 生活相談員・小谷良哲(沖繩療育園) 管理栄養士・名嘉悦子(いしみなね救護園) 介護員・新垣敏浩(名護厚生園) 介護員・山城しのぶ(名護厚生園)
▲宮古厚生園 介護支援専門員・垣花芳枝(名護厚生園) 生活相談員・佐久田政幸(生活相談員) 介護員・下里哲男(職種変更・漲水学園) 生活相談員・砂川正司(職種変更) 准看護師・伊禮勝枝(職種変更)
▲八重山厚生園 介護支援専門員・上地悦子(職種変更) 生活相談員兼介護支援専門員・石垣孝(職種変更) 生活相談員・奥間安洋(生活相談員)

監事 倉持輝幸(公認会計士・倉持公認会計士事務所所長)
森山順子(前沖繩県福祉保健部監査指導班副参事)
第二期評議員
(任期:平成十八年六月十五日、平成二十年六月十四日)
仲田秀光(財沖繩県福祉保健部参事、事業団専任)
大城定理(社中小企業診断協会支部長)
照屋義実(照屋組 代表取締役)
幸地啓子(沖繩県身体障害者福祉協会常務理事)
大湾朝信(都屋の里園長)
知念良和(沖繩県銀行取締役監事推進部部長)
当山尚幸(弁護士)
神里博武(沖繩国際大学総合文化学部教授)
宮里尚安(沖繩県養育院の会会長)
宮城朝義(具志川厚生園家族の会)
花城清善(沖繩県老人クラブ連合会会長)
比嘉佑一郎(沖繩県福祉保健部福祉企画課長)
平成十八年度機関誌刊行委員
編集委員
委員長 竹田陽一(事務局)
副委員長 平良里子(事務局)
委員 中村亜由美(北嶺学園)
佐久本里子(都屋の里)
町田宗広(いしみなね救護園)
島袋敦子(名護厚生園)
奥平里紀子(沖繩療育園)
渡真利大輔(あけぼの学園)
座安正勝(よみたん救護園)
宮城尚(うるま婦人寮)
島袋國浩(具志川厚生園)
荷川取悦子(宮古厚生園)
志村裕子(八重山厚生園)
リポーター
宮里紀子(沖繩療育園)
奥平里紀子(沖繩療育園)
渡真利大輔(あけぼの学園)
座安正勝(よみたん救護園)
宮城尚(うるま婦人寮)
島袋國浩(具志川厚生園)
荷川取悦子(宮古厚生園)
志村裕子(八重山厚生園)

第十九期役員



(任期:平成十八年七月十一日、平成二十年七月十日)
理事長 吳屋清徳(財沖繩県福祉保健部事業団 共済会会長)
常務理事 仲田秀光(財沖繩県福祉保健部参事、事業団専任)
理事 大城定理(社中小企業診断協会支部長)
照屋義実(株照正組 代表取締役)
照屋寛(沖繩県身体障害者福祉協会常務理事)
幸地啓子(税理士、有社会福祉経営研究会代表取締役)
大湾朝信(都屋の里園長)

平成十八年度機関誌刊行委員

